



大阪IRにおける室内スノー・マリンスポーツ施設

～大阪IRで実現する地域活性化促進案～

大阪経済大学

高山寛大 奥野雅 大隅伸 清水陽介 浦上海士

目次



緒言



研究目的



調査結果

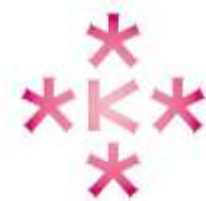


提言



まとめ

緒言



2018年7月



IR整備法が成立

IR整備法とは？

国がカジノを含むリゾート施設の整備を認めた

法律

IR(統合型リゾート)

マリーナベイサンズ



ギャラクシーマカオ

**カジノ施設・ホテル・エンターテインメント施設
MICE施設などが組み合わさった複合施設**



IR整備効果

シンガーポールの外国人入国者数

IRができるまでの… 2009年 968万2690人

IRができてからの…

2015年 1523万1469人

リゾートワールドセントーサ

直接雇用 14000人

間接雇用 35000人

計49000人

マリーナベイサンズ

9000人

東京・大阪に誘致された場合…

市場規模は1兆5000億円と予想されている

IR候補地

現時点では、
大阪(夢洲)・神奈川(横浜)・北海道(苫小牧)
が有力とされている。

誘致レースの激化

候補地が決まるのは…
2022年前後！





IRの定義

この法律は、我が国における人口の減少、国際的な交流の増大その他の我が国を取り巻く経済社会情勢の変化に対応して我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展を図るためには、**国内外からの観光旅客の来訪及び滞在を促進することが一層重要となっている**ことに鑑み、**特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律**

特定複合観光施設区域整備法 第一条より



インバウンドツーリズムを取り込める場所である必要がある



さらに・・・

我が国における観光の魅力に関する情報を適切に提供し、合わせて各地域への観光旅行に必要な運送、宿泊を一元的に行うことにより**国内における観光旅行の促進に資する施設**であって、政令で定める基準に適合するもの

特定複合観光施設区域整備法 第二条

と定義されている



つまり…



**IRの利益だけを考えれば良い海外のIRに対して
日本のIRは全国に向けた法律になっている**



どこに誘致されるのか・・・





**大阪に誘致される
可能性が高い**

なぜ大阪？



**大阪は関西の中心に位置し、
インバウンドを取り込みやすい
関西国際空港・大阪国際空港
神戸空港を有する立地特性**

**西日本の首都となることによって
首都機能をバックアップし
東京一極集中化の
改善にもつながる**



なぜ大阪？

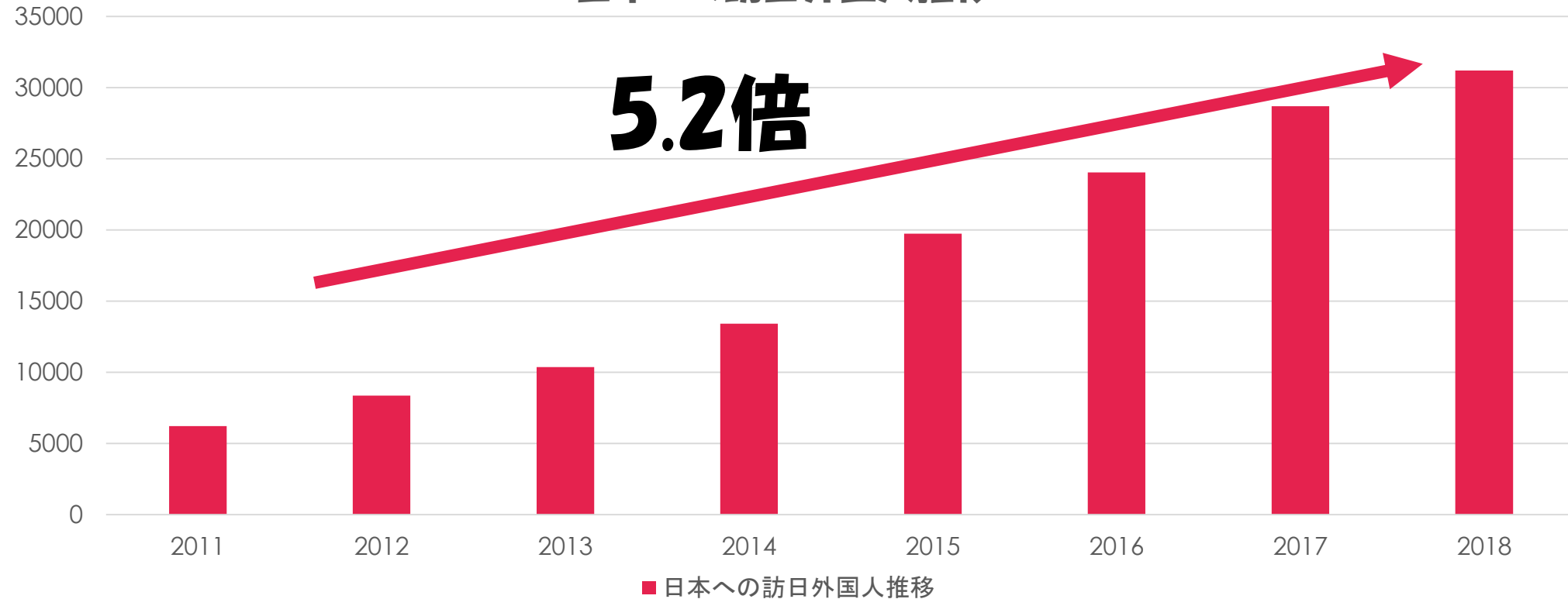


関西には
観光地がたくさんある！
例えば…

アクセスしやすい！



日本への訪日外国人推移



国土交通省 観光庁 訪日外国人消費動向調査より

**アジア諸国におけるビザ発給要件の緩和や航空便数の増加から
訪日外国人者数は増加し、過去最高を更新している**



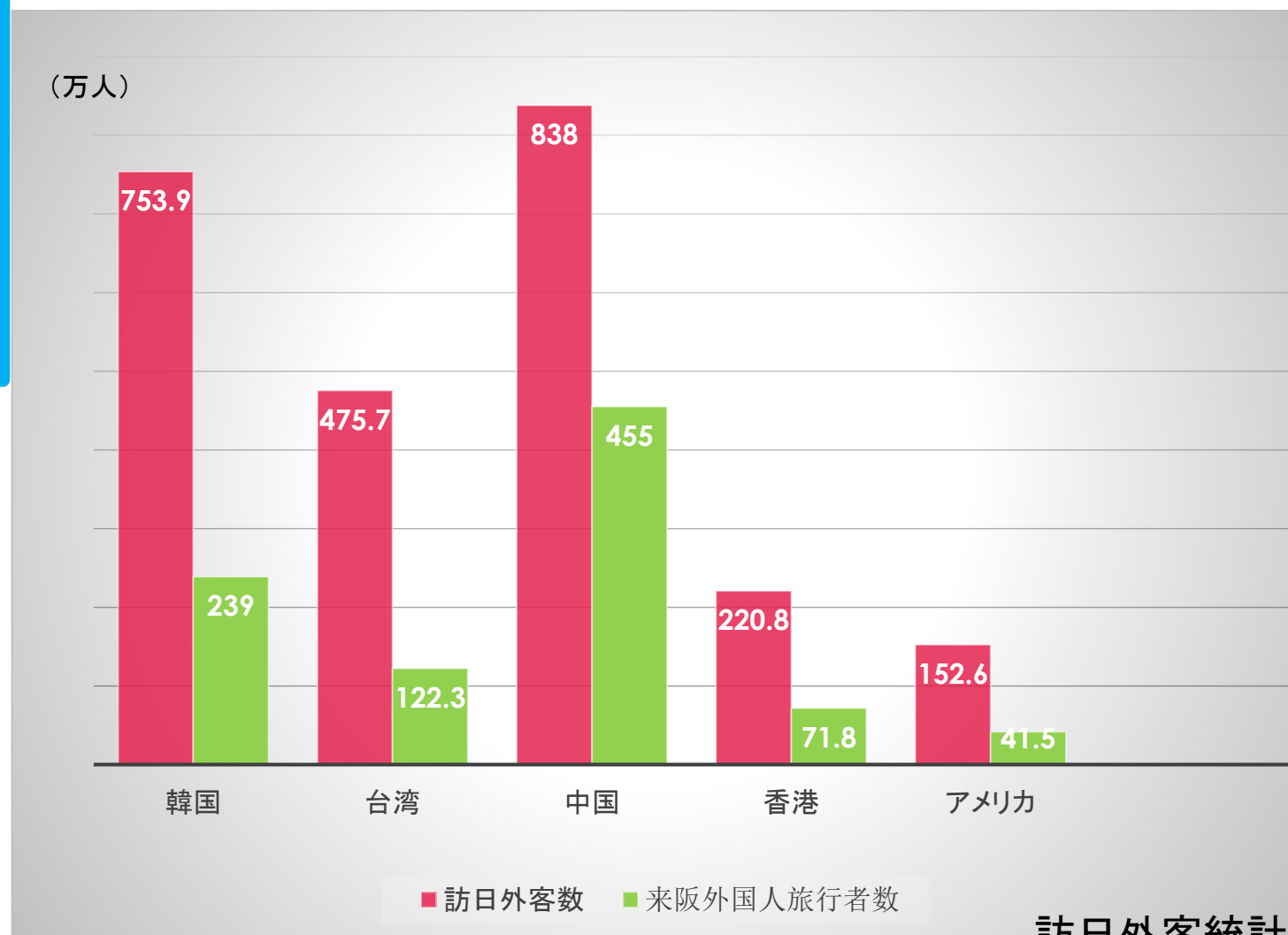
なぜ大阪？

主要5か国・地域別来阪外国人旅行者数

全体の訪日外客数が
約**3120万人**

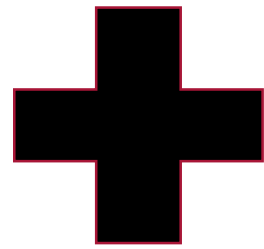
そのうち来阪外国人旅行者数が
約**1142万人**

訪日外客数
の約4割が
大阪に！！





立地的特性



インバウンドの増加

大阪に誘致される可能性が高い

研究目的



**大阪インバウンドツーリズムの観点から大阪誘致される可能性が高い。
さらに、IRで大阪だけに経済効果がもたらされるのではなく、地域活性化させるため**

**IR内にスポーツ施設をつくることを施策として
提案する。**

研究方法



文献調査および先行研究の整理

- ・定性調査(半構造化によるインタビュー形式)

2019年5月14日

調査対象:大阪府・大阪市副首都推進局ご担当者

調査内容:副首都の必要性、副首都・大阪に向けた取り組みなど

2019年8月20日

調査対象:大阪市IR推進局ご担当者

調査内容:大阪市統合型リゾート(IR)事業の取り組み、課題、可能性など

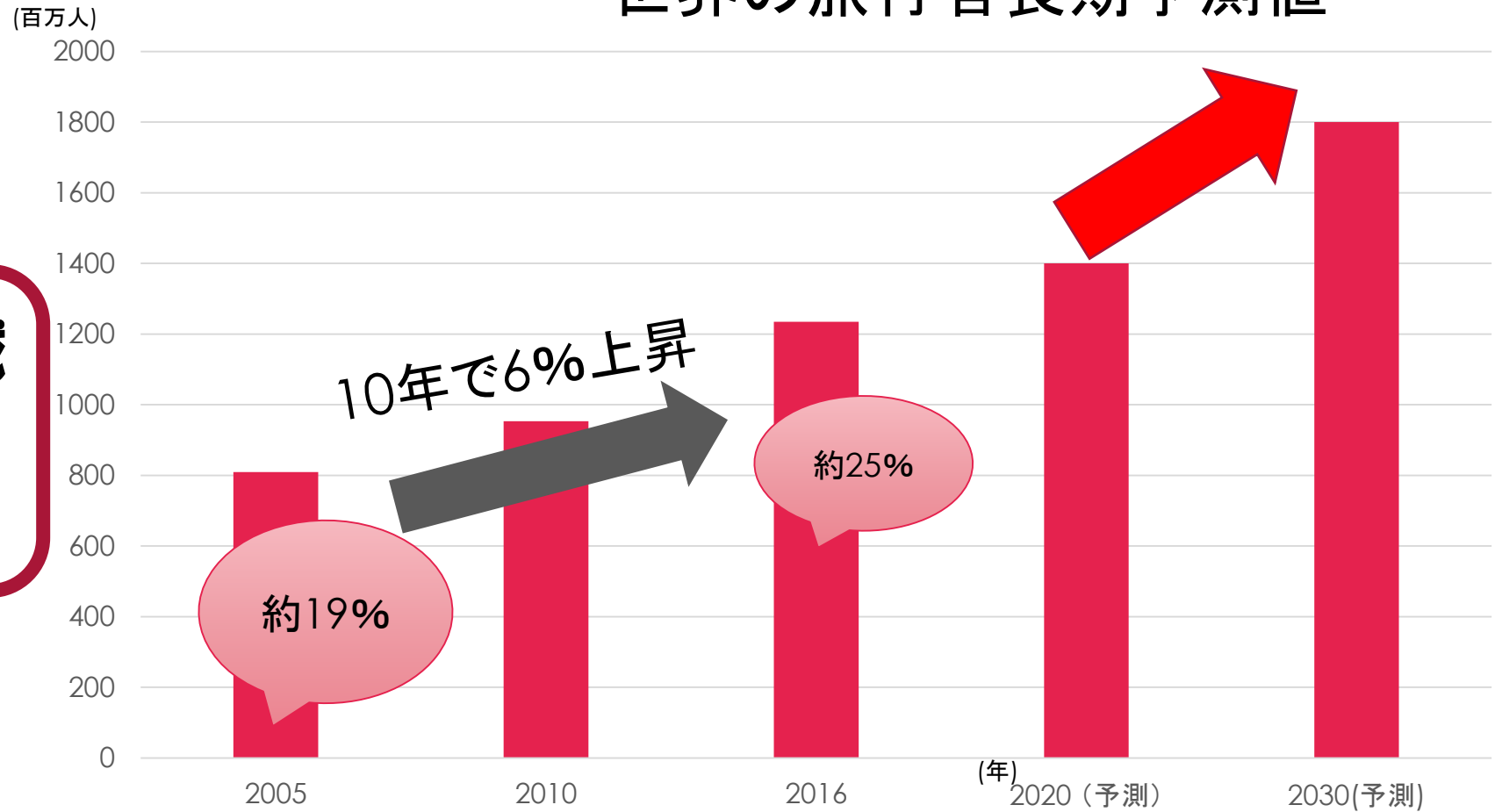
- ・定量調査

2019年10月23日

調査対象:大阪道頓堀における外国人観光客

調査内容:マリンスポーツに対する興味

世界の旅行者長期予測値



**アジア・太平洋地域
の旅行者数が増加傾向にある**

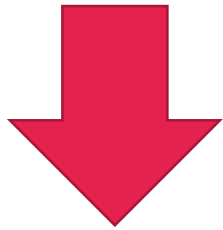
約19%

10年で6%上昇

約25%

大阪に来日している外国人の割合

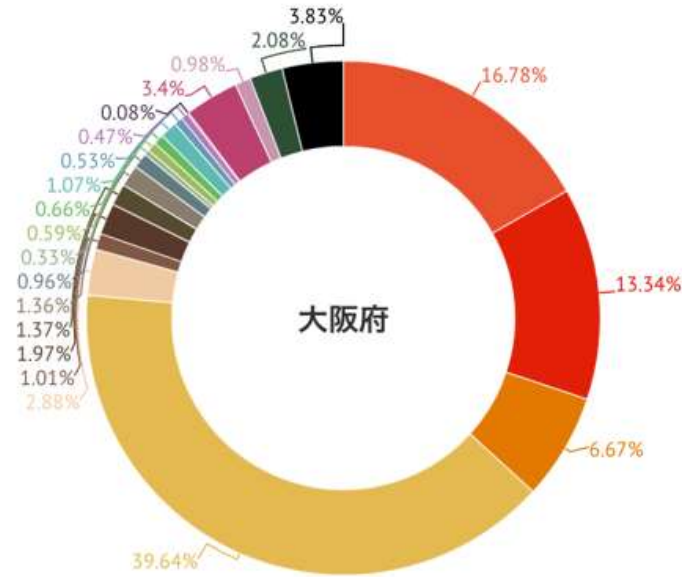
アジアからの観光客が
8割を占めている



この観光客をどう取り入れるか



訪日ラボ
国内最大級のインバウンドニュースサイト



- 韓国
- 台湾
- 香港
- 中国
- タイ
- シンガポール
- マレーシア
- インドネシア
- フィリピン
- ベトナム
- インド
- 英国
- ドイツ
- フランス
- イタリア
- スペイン
- ロシア
- 米国
- カナダ
- オーストラリア
- その他

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査 2016年の年間値の推計」



新しい旅行のスタイル「スポーツツーツーリズム」

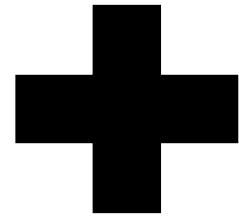


大会に参加

スポーツを観戦する

スポーツをする

スポーツ体験



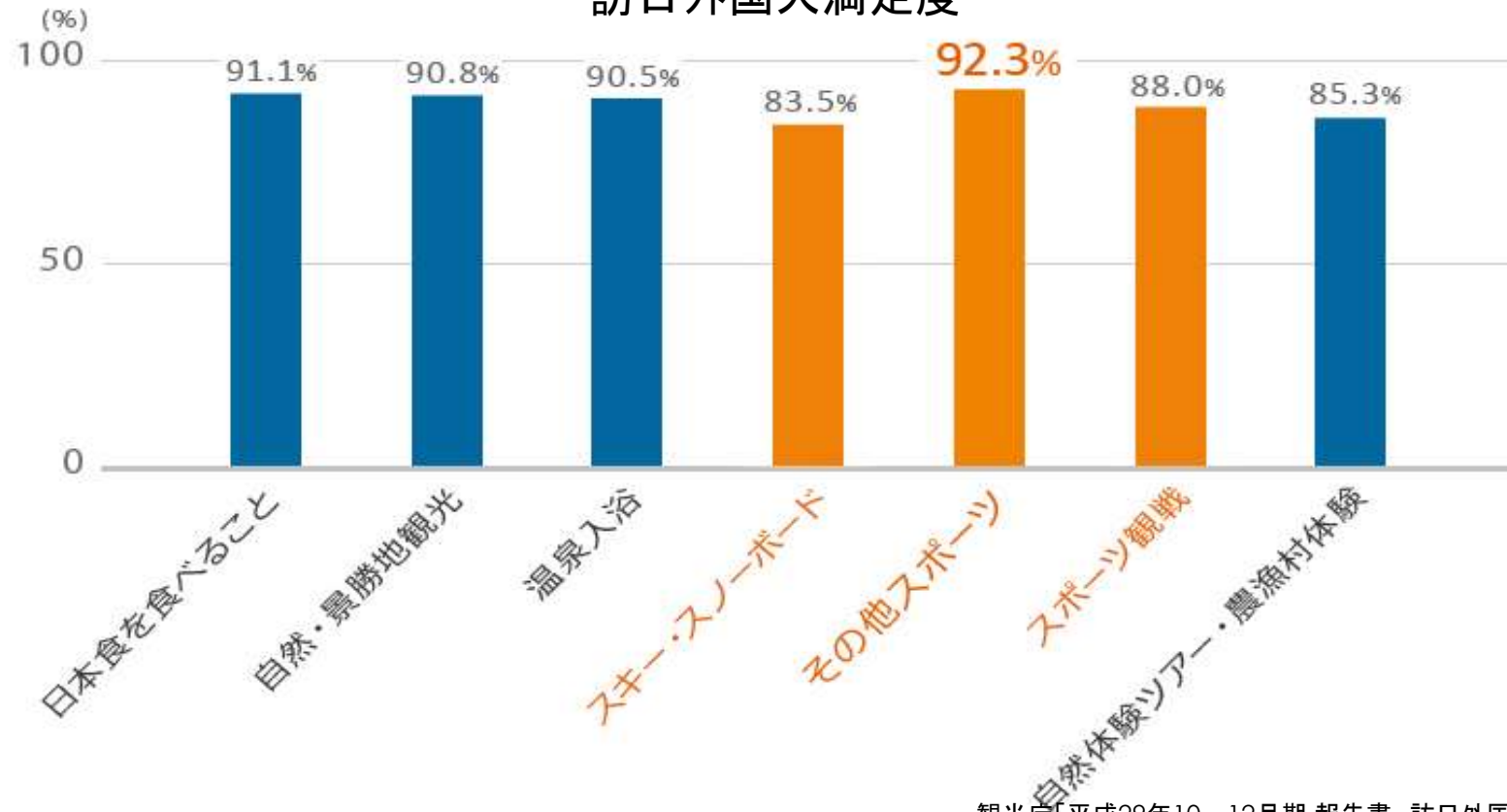
観光



スポーツツーリズム



訪日外国人満足度



観光庁「平成29年10 - 12月期 報告書 訪日外国人の消費動向」

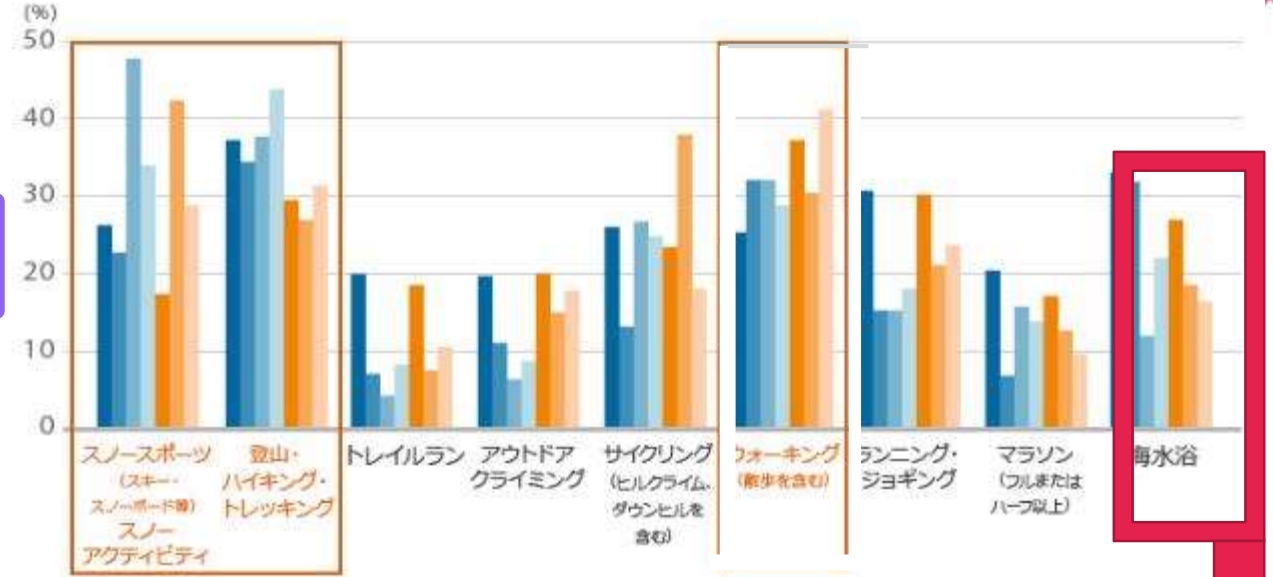
スポーツに関するものも高く「する」スポーツでは中でもスキー・スノーボードが高い

日本で経験してみたい、「する」スポーツツーリズム

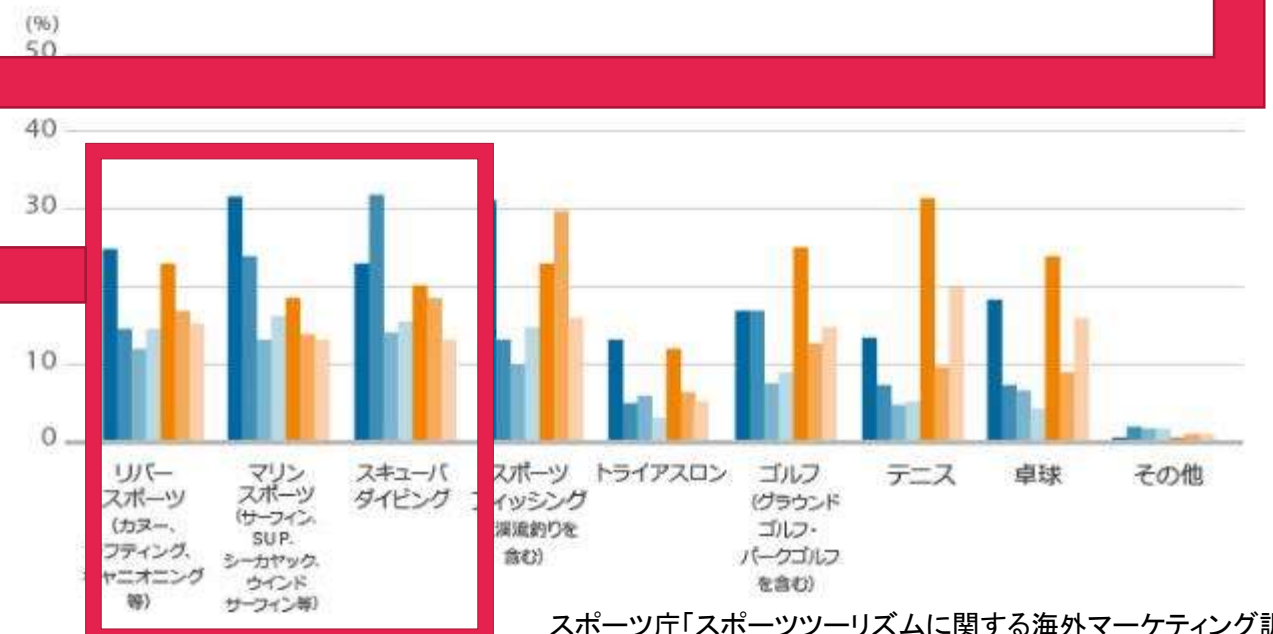


■中国 ■韓国 ■台湾 ■香港 ■アメリカ ■タイ ■オーストラリア

スノースポーツへの意欲が高い



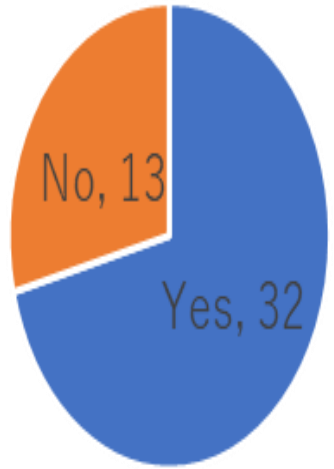
マリンスポーツアクティビティに関するものが上位を占める



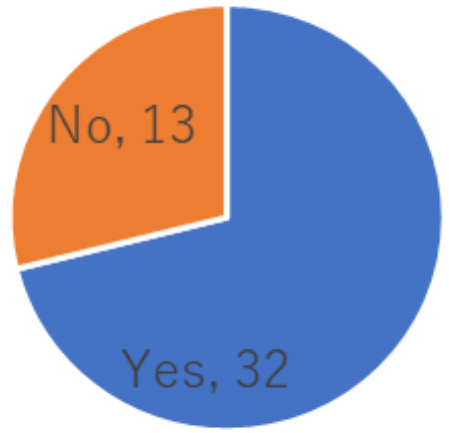


大阪・道頓堀で外国人45人にアンケートしたところ…

スノースポーツに興味があるか？ サーフィン、カヌーに興味があるか？



■ Yes ■ No

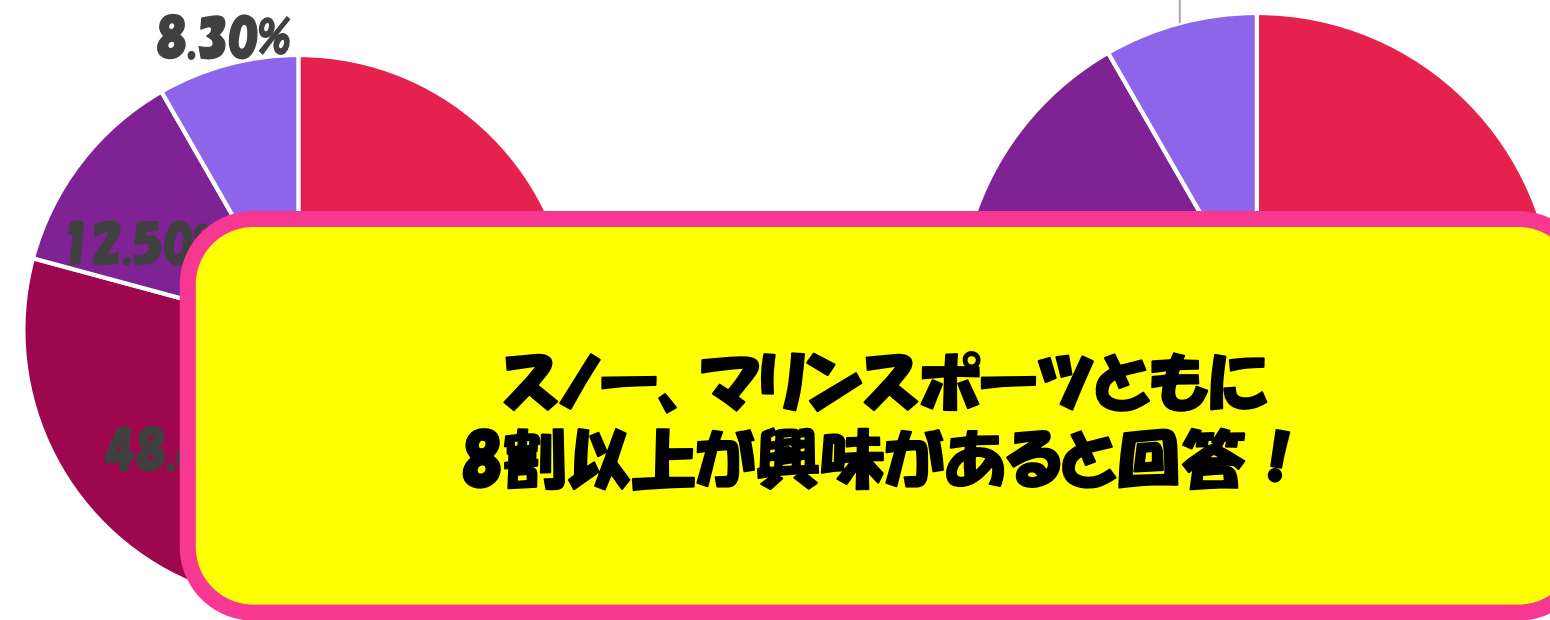


■ Yes ■ No



日本人学生18歳～22歳の72人アンケートしたところ…

スノースポーツに興味はあるか
サーフィン・カヌーに興味はあるか



■とてもある ■ある ■ない ■ほとんどない

■とても思う ■思う ■あまり思わない ■思わない





もし大阪に室内スノー・マリン施設
ができれば利用してみたいか？

大阪に室内スノー、マリンスポーツができる
ところがあれば行きたいか

外国人

日本人

**IRはスノースポーツとマリンスポーツ
を軸にした施設を取り入れるべき**

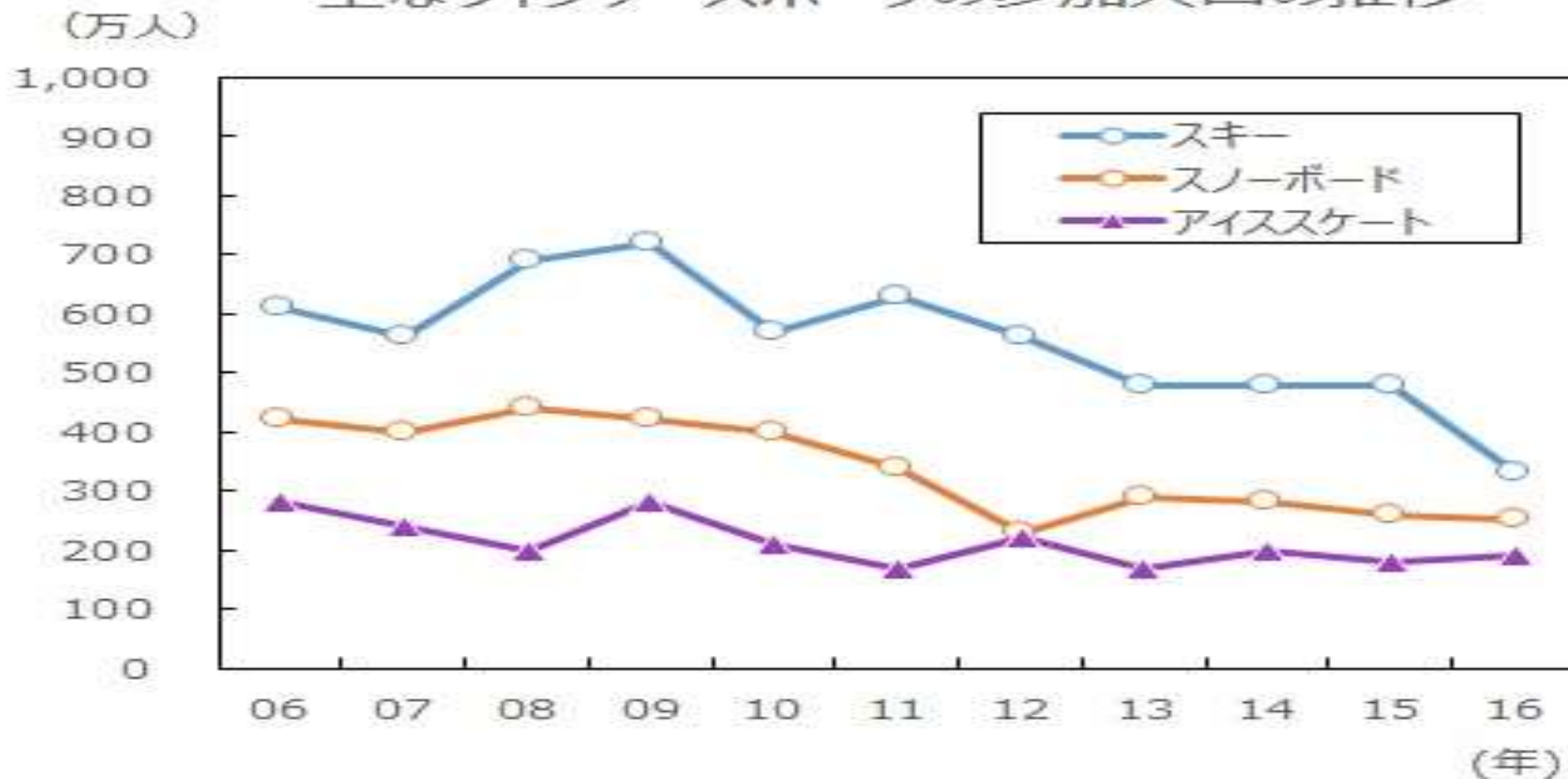
■ Yes ■ No

■ とても行きたい ■ 行きたい ■ あまり行きたくない ■ 全く行きたくない



国内スノースポーツ 現状

主なウィンタースポーツの参加人口の推移



資料：公益財団法人日本生産性本部 余暇創研(2017)
「レジャー白書2017」生産性出版

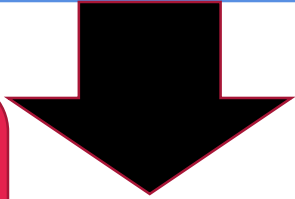
年々減少傾向にあるのが現状



スキーとスノーボードの居住地別参加率 (2016年)

スキーの参加率		スノーボードの参加率	
居住地	参加率(%)	居住地	参加率(%)
1 北海道	7.5	1 新潟	5.8
2 埼玉	5.2	2 岐阜	5.0
3 北東北	4.7	3 長野・山梨	4.1
4 兵庫	4.6	4 北関東	3.7
5 東京	3.7	5 北海道	3.7
6 新潟	3.7	6 北陸	3.7
7 南東北	3.7	7 神奈川	3.0
8 静岡	3.7	8 三重	2.9
9 三重・奈良・和歌山	3.5	9 四国	2.7
10 神奈川	3.4	10 中国	2.6
10 北陸	3.4		

実際のゲレンデがある地域の参加率が高い



するきっかけの無さ

ゲレンデがない人は興味を持つ機会も少なく参加人口の増加も見込めない

注：北東北(青森、秋田、岩手、山形)、南東北(宮城、福島)、北関東(群馬、茨城、栃木)、北陸(富山、石川、福井)、中国(鳥取、島根、岡山、広島、山口)、四国(徳島、香川、愛媛、高知)。
資料：公益財団法人日本生産性本部 余暇創研(2017)「レジャー白書2017」生産性出版

東京オリンピックを狙いとした新施設





東京オリンピック新種目に
サーフィン・カヌーが決定！



国内での知名度も飛躍的に上がることが推測される



サーフィン・・・海



カヌー・・・川



この二つの参加人口を増やすことは
各地域への波及効果につながる

サーフィン、スキューバダイビング等の参加人口の推移

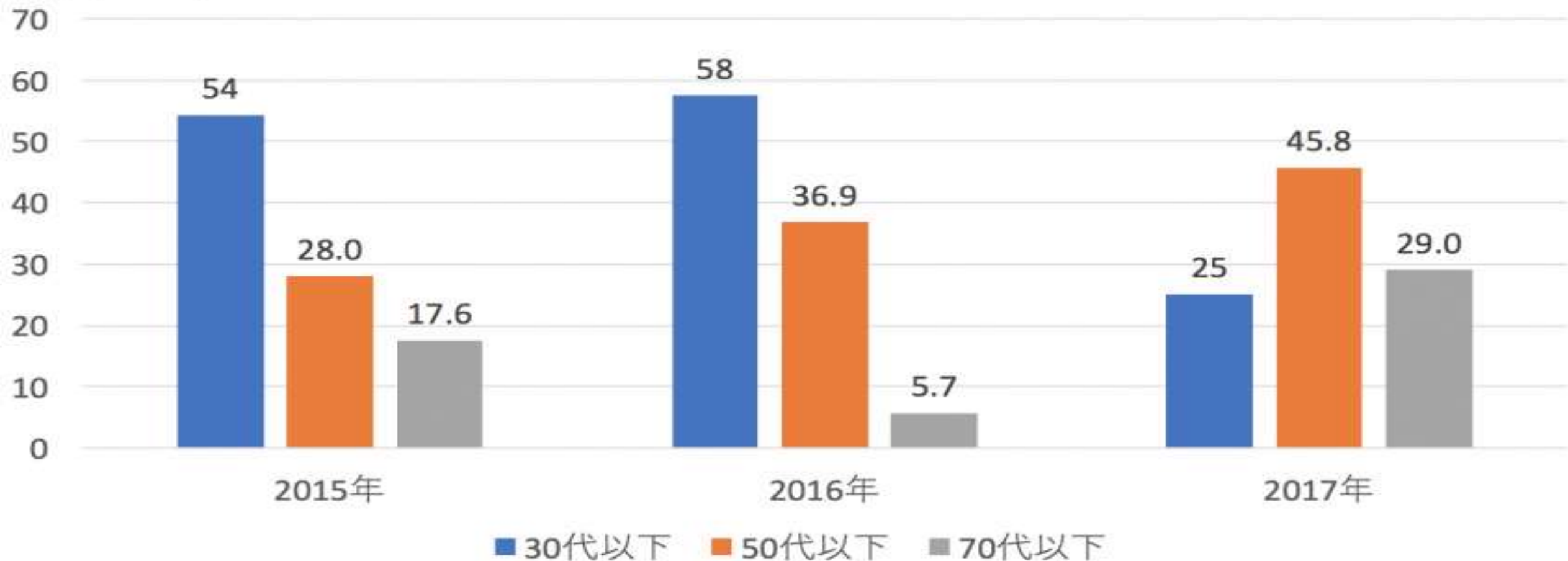


(資料)公益財団法人 日本生産性本部「レジャー白書」

2015年から参加人口が増加している

参加人口の年代別構成比（男女）

（単位：％）



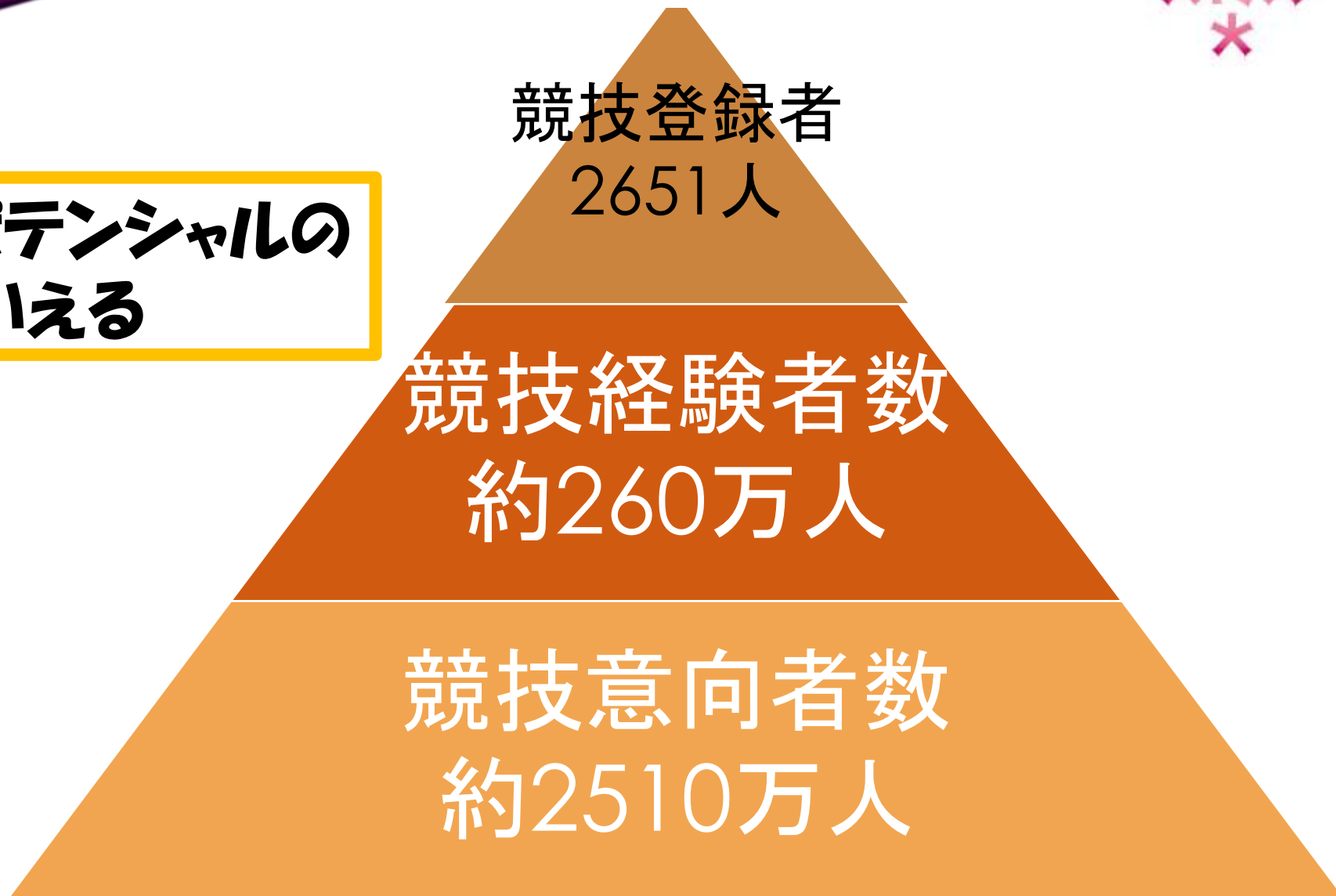
（資料）公益財団法人 日本生産性本部 「レジャー白書」

参加人口が増加しているにもかかわらず
高齢化が進んでいる

国内カヌー現状



競技意向者数が多くポテンシャルの
高いスポーツであるといえる





なぜ意欲が高いにもかかわらず参加人口が少ないのか？

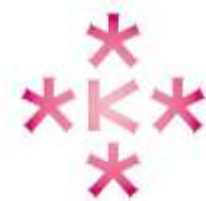
カヌースプリントコース

国内60会場 都内1会場

スラロームコース

国内1会場

**サーフィン・スノースポーツ同様する環境がない
ため参加人口の増加につなげにくい**



**人工ゲレンデ・ウェーブプール・スラロームセンター
を設立し**

IR内におけるスノーとマリンの共存を実現



スノースポーツ・・・スキー

マリンスポーツ・・・サーフィン、カヌー

それぞれのシーズンでしかできないスポーツ



室内施設にすることによって共存

室内ゲレンデ

例 ハルビン WANDA SNOW PARK

敷地面積80000 m²

建設費 約302億円



現在世界最大規模

室内ゲレンデ

(例)Ski Dubai



年間来場者数約75万人

建設費400億円

国内例
ららぽーと
スキードームザウス





1993年(營業開始)

2002年(營業終了)



- **建設費 約400億円**
- **駐車場 1100台無料**
- **幅100m 長さ500m**
- **面積 約50000m²**

**10年間総客数約900万人
総売り上げ600億円～650億円**

黒字経営であったが今後収益の見込みがないため営業終了

2002年の訪日外国人は約524万人と現在の6分の1ほど

ウェーブプールとは

- 人工的に波を作り出しその波でサーフィンをする施設



天候に左右されず
楽しめる



ウェーブプール需要は？

韓国 私興(シフン)



イギリス バーミンガム



スラロームセンター

スラロームをするために人工的に流れを作る施設



2020年の東京オリンピックのために
国内でも初の人工コースが
葛西臨海公園隣接地に作られた



資金は？



IR設立には投資規模が
約9300億



と潤沢な資金がある

莫大な資金があるからこそ実現可能

参加人口を増やすには？



初心者向けの施設の設置

インストラクター

斜面の角度の
なだらかさ

手すり

波の大きさ



参加人口を増やすには？



それぞれの施設でコースの差別化

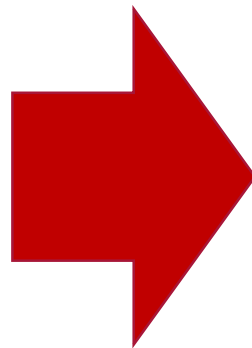
(例)

初心者コース

中級者コース

上級者コース

エキスパートコース



初心者参加のハードルを
下げる

参加人口の増加



地方地域に訪ずれることにより
間接的に地域活性が見込める

上級者になった人や
「する」きっかけを得た人



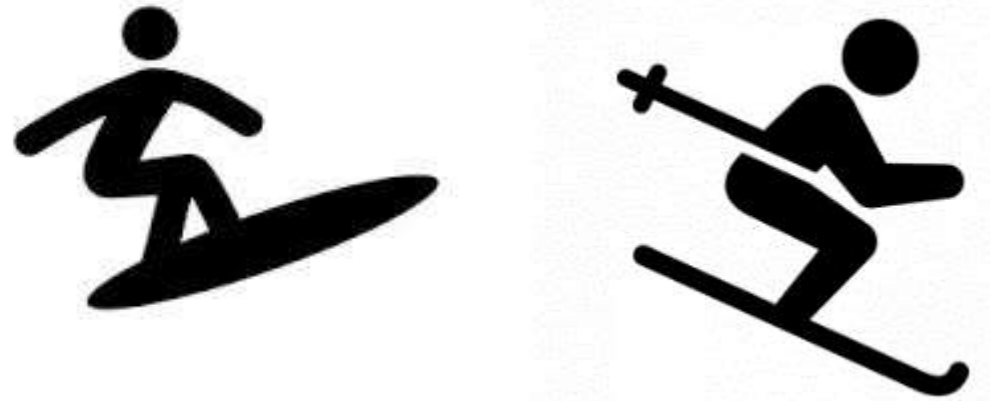
地方への波及



関西サーフポイント 58



日本ではする環境がなさそうに思われる
サーフィン
実際は関西だけでも58か所以上存在する



国内におけるゲレンデの数は
おおよそ500ほど

まとめ



スノー・マリンス施設の共存の実現

年間を通してインバウンド
を取り込むこみ、
IR本来の経済効果に加え、
更なる経済効果の創出

国内外の新たな参加人口
増加を促し地方地域への
波及効果をもたらす



参考文献

大阪府・IR推進局 IR基本構想(案)

大阪府・IR推進局 「なぜ、大阪はIR誘致を目指すのか」

大阪府・大阪市副首都推進局 「副首都・大阪」の確立・発展に向けた取り組み

大阪府・大阪市副首都推進局 「副首都ビジョン」

公益財団法人 日本生産本部 「レジャー白書2018」

UNWTO(国連世界観光機関)「世界の旅行者数の長期予測値」

<http://statistics.unwto.org/>

スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する海外マーケティング調査分析資料」

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/019_index/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2018/03/23/1402586_00003.pdf

日本カジノ研究所

<https://vegasdocs.com/casinohouan/kouhochi.html>

ご清聴ありがとうございました。

